



学校だより 7月号

～豊かで調和のとれた子の育成～

たくましく生きる人 なかよく生きる人

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>



みのたなくん

田奈小学校の聖火リレー ～150周年に向かって歩み続ける子どもたち～

校長 大原 敦子



異例の早さで梅雨明けとなりました。連日厳しい暑さが続きます。少し前までは気温が上がったことで、1年生のアサガオも2年生や5組の夏野菜も、3年生の花も日に日に大きくなり、子どもたちが世話をしながらその生長ぶりを嬉しそうに報告していましたが、このところの暑さは植物にとってもかなり厳しい状況のように感じます。地域の方やPTA役員の皆様、保護者の皆様にご協力いただいて5年生や保育園の子どもたちが田植えをした田奈っ子水田の稲、田奈っ子菜園の野菜（菜園整備をどうもありがとうございました）、そして地域の方にご協力いただき3年生が見学させていただいた梨園の梨。みんな大丈夫かなと心配しつつ、自然の厳しさと常に向き合っている様子を育てられている、地域の方々への尊敬の念を禁じえません。

6月25日（土）は、今年度初めてとなる授業参観にご来校いただきまして、ありがとうございました。そしてこの日は田奈小学校149周年の開校記念日でした。裏面の「6月の田奈っ子の様子」にもありますように、朝の時間を使って開校記念日集会を行いました。担当した委員会の子どもたちは、休み時間も使って準備を重ね、当日は事前収録の動画とライブ配信のテレビ放送を駆使して会を運営しました。今年度も一堂に会しての開校記念日集会はできませんでしたが、全校児童が楽しみながら田奈小学校や地域の歴史を学ぶことのできた素敵な集会でした。

その日の休み時間には、職員玄関前にある田奈小学校の昔の写真を見に来た子どもたちが話していました。ある1年生の子は「あ、大鵬（おおとり）がここにある！」と笑顔いっぱい伝えていました。とても嬉しい子どもたちの姿でした。

この開校記念日集会の最後は、「聖火リレー」の映像でした。「148周年」と書かれた襷を身に着けたランナーから聖火を受け継いだ、「149周年」の襷をかけたランナー。お祝いのケーキのろうそくに火を灯すと、また力強く走り出しました。田奈小学校の未来へと続く、とても印象的な場面でした。

さて、朝ぐったりとしていた野菜や花たちを夜帰るときに見てみると、子どもたちの世話のおかげか、しゃんとして元気を取り戻していました。そのたくましい様子が、毎日厳しい暑さの中、熱中症対策を取りながら登下校している子どもたちの姿と重なって見えました。

夏休みまであと3週間。149周年の田奈小学校をつくっている子どもたちは、150周年に向かって「聖火」をつなぐべく、着実に歩んでいます。そして、その子どもたちをいつも温かく見守り、支えてくださっている保護者の皆様、地域の方々にも心より感謝いたしております。今月もよろしく願いいたします。

お願い

○登下校時の熱中症対策にご協力をお願いします。

学校では、感染防止対策を取りつつ、熱中症対策を講じています。教育委員会からも「熱中症対策を優先に」という指示も来ています。登下校の際、話を控えてマスクを取ること・水筒の中身を多めに用意して水分補給をこまめすることを子どもたちに伝えています。加えて、首にかける冷却タオル等もあるとよいと思います。ご家庭でもお子様にお声かけいただけると幸いです。

※ご心配な点やご不明な点がございましたら、学校までご連絡ください。